

目 次

第 一 部	問 題 と そ の 検 討	1
第 一 章	研究の趣旨と経過	今井秀雄 1
第 二 章	この研究において用いられた手指言語の概説	今井秀雄 他 5
第 三 章	先行研究のまとめ	27
	(一) 我が国の聴覚障害児教育における手指法等の研究	菅原廣一 27
	(二) 諸外国の聴覚障害児教育における手指法等の研究	岩城 謙 31
	(三) 重度精神遅滞児及び自閉(症)児の教育におけるサイン言語の研究	藤田継道 39
第 二 部	研 究 結 果	51
第 一 章	聴覚障害児の言語力からみた言語メディア	51
	(一) 聴覚障害児の情報の受容	高橋信雄 51
	(二) 聴覚障害児の読みの能力	我妻敏博 61
	(三) 聴覚障害児の発話資料の分析	星名信昭 67
	(四) 聴覚障害児の作文資料の分析	我妻敏博 75
	(五) 聴覚障害児の言語メディアの検討	今井秀雄 78
第 二 章	聴覚障害乳幼児の発達の観点から	85
	(一) コミュニケーション行動の発達	長澤泰子 85
	(二) 母子コミュニケーション	菅原廣一 91
	(三) 物語の記憶と理解に及ぼす言語メディアの影響	小田侯朗・星名信昭 97
	(四) 聴覚障害幼児の概念化の発達	我妻敏博 103
第 三 章	手指法の言語学的検討	109
	(一) 動詞の持続は手指(伝統的手話)でどうあらわされるか	高橋太郎 他 109
第 四 章	精神薄弱教育の立場から	121
	(一) 精神遅滞児のサイン言語指導事例	大友 昇・緒方登士雄 121
第 三 部	総 括	127
第 一 章	教育実践からみた問題点と今後の方向	127
	(一) 同時法の課題と今後の方向	宇賀神尚雄 127
	(二) キュード・スピーチを用いた言語指導の実践	風戸伸也 131
第 二 章	今後の課題と展望	139
	(一) 聴覚障害幼児の言語発達と言語メディア	清水美智子 139
	(二) ま と め	今井秀雄 143
付 録	研究メンバー等	星名信昭 149